

学 年

1年

## 【文字と式】⑥ 不等式の表し方 A

年 組 氏名

1 次の ( ) に適切なことばや式を入れなさい。

(1)  $\bigcirc$ より $\square$ が大きいとき、不等号を使って ( ) と表す。(2)  $3-a > 5$  とは、 $3-a$ が5より ( ) ことを表している。

(3) 日常生活で大小の関係を表すことばには ( ) などがある。

\*大小を表すことばを思いっただけ書きなさい。

2 次の不等式が意味することがらを具体的に答えなさい。

(1) (Aさんの身長)  $>$  (Bさんの身長)(2) (所持金)  $<$  (商品の代金)(3) (Aさんの体重)  $\leq$  (Bさんの体重)

3 次の不等式が表す範囲を、下の(ア)～(オ)の中からすべて選び、記号で答えなさい。

(1)  $a < b$ (2)  $a > b$ (3)  $a \leq b$ (4)  $a - b \geq 0$ (ア)  $a$ は $b$ より大きい(イ)  $a$ は $b$ より小さい(ウ)  $a$ は $b$ 以上(エ)  $a$ は $b$ 以下(オ)  $a$ は $b$ 未満

4 次の文を、不等号を使って表しなさい。

(1)  $a$ は5より大きい。

( )

(2)  $b$ は3未満である。

( )

(3)  $c$ は10以上12以下の数である。

( )

(4)  $d$ は7以上15未満の数である。

( )

(5)  $e$ は負の数である。

( )

学 年

1 年

## 【文字と式】⑥ 不等式の表し方 A

年 組 氏名

〔Point〕 ことばと記号が表す意味を正確に理解する。

特に「以上、以下、未満」の意味に注意する。(境界の数を含むのか含まないのか。)

→ 「未満」はその数を含みません。

→ また、「～より大きい」や「～より小さい」という表現も、その数を含みません。

- 1 (1)  $\bigcirc$ より $\square$ が大きいとき、不等号を使って ( $\bigcirc < \square$ ) と表す。 ←  $\square > \bigcirc$ でも可  
 (2)  $3-a > 5$ とは $3-a$ が5より(大きい)ことを表している。  
 (3) 日常生活で大小の関係を表すことばには  
(大きい, 小さい, 多い, 少ない, 高い, 低い, 以上, 以下, 未満)などがある。

- 2 (1) (Aさんの身長)  $>$  (Bさんの身長) AさんはBさんより背が高い  
 (2) (所持金)  $<$  (商品の代金) その商品を買うには所持金が足りない  
 (3) (Aさんの体重)  $\leq$  (Bさんの体重) Aさんの体重はBさんの体重と同じかBさんより軽い

- 3 (1) (イ), (オ) (2) (ア) (3) (イ), (エ), (オ)  
 (4) (ア), (ウ)

- 4 次の文を、不等号を使って表しなさい。

(1)  $a$ は5より大きい。

(  $a > 5$  )

(2)  $b$ は3未満である。

(  $b < 3$  )

(3)  $c$ は10以上12以下の数である。

(  $10 \leq c \leq 12$  )

(4)  $d$ は7以上15未満の数である。

(  $7 \leq d < 15$  )

(5)  $e$ は負の数である。

(  $e < 0$  )

学 年

1年

## 【文字と式】⑥ 不等式の表し方 B

年 組 氏名

1 [ ] の中に不等号をいれて大小を比べなさい。

また、何を見れば数の大小はわかりますか、答えなさい。

(1)  $3$  [ ]  $5$

正の数どうしの大小 ( )

(2)  $-3$  [ ]  $5$

正の数と負の数の大小 ( )

(3)  $-3$  [ ]  $-5$

負の数どうしの大小 ( )

2 次の3つの数を不等号を使って小さい順に並べなさい。

(1)  $6$  ,  $8$  ,  $-2$

( )

(2)  $0.4$  ,  $-0.1$  ,  $-0.01$

( )

(3)  $-10$  ,  $-18$  ,  $-3$

( )

(4)  $0$  ,  $\frac{1}{2}$  ,  $-\frac{3}{5}$

( )

学 年

1 年

## 【文字と式】⑥ 不等式の表し方 B

年 組 氏名

【Point】数の大小関係を正確に把握し、不等号を用いて作る関係式を理解する。

特に、3つ以上の数の大小関係を示す場合は注意が必要。

6 , 8 , -2 の場合、

× →  $6 < 8 > -2$  まん中の数と両端の数を別に比べることはしませんので、注意しましょう。

○ →  $-2 < 6 < 8$  左から小さい順に並べて、不等号を用います。

1

(1)  $3 [ < ] 5$

正の数どうしの大小 ( **絶対値が大きい(小さい)ほうが大きく(小さく)なる** )

(2)  $-3 [ < ] 5$

正の数と負の数の大小 ( **負の数の方が必ず小さくなる** )

(3)  $-3 [ > ] -5$

負の数どうしの大小 ( **絶対値が小さい(大きい)ほうが大きく(大きく)なる** )

2

(1) 6 , 8 , -2

(  **$-2 < 6 < 8$**  )

(2) 0.4 , -0.1 , -0.01

(  **$-0.1 < -0.01 < 0.4$**  )

(3) -10 , -18 , -3

(  **$-18 < -10 < -3$**  )

(4)  $0$  ,  $\frac{1}{2}$  ,  $-\frac{3}{5}$

(  **$-\frac{3}{5} < 0 < \frac{1}{2}$**  )

学 年

1年

## 【文字と式】⑥ 不等式の表し方 C

年 組 氏名

1 [ ] の中に不等号をいれて大小を比べなさい。

(1)  $5-3$  [ ]  $7-2$

(2)  $-3 \times (-5)$  [ ]  $3 \times (-5)$

(3)  $-3 \times a$  [ ]  $3 \times a$  ( $a$  は正の数)

(4)  $-3 \times a$  [ ]  $3 \times a$  ( $a$  は負の数)

2 次の数量の間を関係を不等式で表しなさい。

(1)  $a$  と 3 の和は 6 よりも小さい。

---

---

(2)  $a$  の 2 倍から 5 をひいた数は 7 以上である。

---

---

(3) 1 本  $a$  円の鉛筆 5 本の代金より、1 つ  $b$  円の消しゴム 3 つの代金のほうが高い。

---

---

(4) 長さ  $am$  のひもから  $bm$  のひもを 2 本と  $3m$  のひもを切り取ったら、ひもが少し余った。

---

---

学 年

1 年

## 【文字と式】⑥ 不等式の表し方 C

年 組 氏名

〔Point〕数の大小関係を正確に把握し、不等号を用いて作る関係式を理解する。

特に、負の数をかけると、元の数の大小関係は逆転する。

6 と 8 の場合、

$6 < 8$  の両方に 3 をかけても、 $18 < 24$  となり、大小関係は元の場合と変わりません。

ところが、両方に  $-3$  をかけると、 $-18 > -24$  となり、大小関係は逆転します。

1

(1)  $5-3$  [  $<$  ]  $7-2$

(2)  $-3 \times (-5)$  [  $>$  ]  $3 \times (-5)$

(3)  $-3 \times a$  [  $<$  ]  $3 \times a$  ( $a$  は正の数)

(4)  $-3 \times a$  [  $>$  ]  $3 \times a$  ( $a$  は負の数)

2

(1)  $a$  と 3 の和は 6 よりも小さい。

$$\underline{\underline{a+3 < 6}}$$

(2)  $a$  の 2 倍から 5 をひいた数は 7 以上である。

$$\underline{\underline{2a-5 \geq 7}}$$

(3) 1 本  $a$  円の鉛筆 5 本の代金より、1 つ  $b$  円の消しゴム 3 つの代金のほうが高い。

$$\underline{\underline{5a < 3b}}$$

(4) 長さ  $am$  のひもから  $bm$  のひもを 2 本と  $3m$  のひもを切り取ったら、ひもが少し余った。

$$\underline{\underline{a > 2b+3}}$$